

目次

はしがき

第1編 犯罪の動向

第1章 刑法犯	2
第1節 主な統計データ	2
1 認知件数と発生率	3
2 検挙人員	5
3 検挙率	7
第2節 主な刑法犯	7
1 窃盗	8
2 強制性交等・強制わいせつ	10
3 その他の刑法犯	11
第2章 特別法犯	16
第1節 主な統計データ	16
第2節 主な特別法犯	18
第3章 諸外国における犯罪動向	20
第1節 諸外国における犯罪	20
1 殺人	21
2 強盗	22
3 窃盗	23
4 性暴力	24
第2節 国外における日本人の犯罪	25

第2編 犯罪者の処遇

第1章 概要	28
1 新規立法の動向	29
2 法テラスの活動	30
第2章 検察	31
第1節 概説	31
第2節 被疑事件の受理	32
第3節 被疑者の逮捕と勾留	33

第4節	被疑事件の処理	34
第3章	裁判	37
第1節	概説	37
第2節	確定裁判	38
第3節	第一審	38
1	終局裁判	38
2	科刑状況	40
3	裁判員裁判	42
4	即決裁判手続	45
5	公判前整理手続	45
6	勾留と保釈	45
第4節	上訴審	47
第4章	成人矯正	49
第1節	概説	49
1	刑事施設等	49
2	刑事施設における処遇	49
第2節	刑事施設の収容状況	50
1	刑事施設の収容人員	50
2	刑事施設の収容率	50
3	入所受刑者	51
4	出所受刑者	53
第3節	受刑者の処遇等	55
1	処遇の概要	55
2	作業	57
3	矯正指導	58
4	就労支援	60
5	福祉的支援	61
6	受刑者の釈放等に関する情報の提供	61
第4節	刑事施設の運営等	61
1	刑事施設視察委員会	61
2	給養・医療・衛生等	62
コラム1	刑事施設における新型コロナウイルス感染症への対策	62
3	民間協力	64
4	規律・秩序の維持	64
5	不服申立制度	64
第5節	未決拘禁者等の処遇	65
第6節	官民協働による刑事施設等の整備・運営	66
第5章	更生保護	67
第1節	概説	67
1	更生保護における処遇	67
2	更生保護の機関	67

第2節	仮釈放等と生活環境の調整	67
1	仮釈放等	67
2	生活環境の調整	70
第3節	保護観察	71
1	保護観察対象者の人員等	71
2	保護観察対象者に対する処遇	75
3	保護観察対象者に対する措置等	81
4	保護観察の終了	81
	コラム2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大下での更生保護	82
第4節	応急の救護・更生緊急保護の措置等	84
第5節	恩赦	86
第6節	保護司，更生保護施設，民間協力者等と犯罪予防活動	87
1	保護司	87
2	更生保護施設	88
3	自立準備ホーム	90
4	民間協力者及び団体	91
5	更生保護協会等	92
6	犯罪予防活動	92
第6章	刑事司法における国際協力	94
第1節	刑事司法における国際的な取組の動向	94
1	国際組織犯罪対策及びテロ対策	94
2	薬物犯罪対策	95
3	マネー・ローンダリング対策	95
4	汚職・腐敗対策	96
5	サイバー犯罪対策	96
6	国際刑事裁判所	96
第2節	犯罪者の国外逃亡・逃亡犯罪人の引渡し	97
1	犯罪者の国外逃亡	97
2	逃亡犯罪人の引渡し	97
第3節	捜査・司法に関する国際協力	98
1	捜査共助	98
2	司法共助	98
3	刑事警察に関する国際協力	98
第4節	矯正・更生保護分野における国際協力	99
1	国際受刑者移送	99
2	矯正・更生保護に関する国際会議	100
第5節	刑事司法分野における国際研修・法制度整備支援等	100
1	国連アジア極東犯罪防止研修所における協力	100
2	法制度整備支援	101
3	矯正建築分野における協力	101

第3編 少年非行の動向と非行少年の処遇

第1章 少年非行の動向	104
第1節 少年による刑法犯	104
1 検挙人員	104
2 属性による動向	105
3 罪名別動向	108
4 共犯事件	109
第2節 少年による特別法犯	110
1 検挙人員	110
2 薬物犯罪	111
3 交通犯罪	112
第3節 ぐ犯少年	113
第4節 不良行為少年	114
第5節 家庭と学校における非行	115
1 家庭内暴力	115
2 校内暴力	116
3 いじめ	116
第2章 非行少年の処遇	117
第1節 概要	117
1 家庭裁判所送致までの手続の流れ	118
2 家庭裁判所における手続の流れ	118
3 保護処分に係る手続の流れ	119
4 少年法等の改正	120
第2節 検察・裁判	120
1 検察（家庭裁判所送致まで）	120
2 家庭裁判所	121
第3節 少年鑑別所	124
1 概説	124
2 入所・退所の状況	124
3 鑑別	127
4 観護処遇	128
5 非行及び犯罪の防止に関する援助	129
第4節 少年院	130
1 概説	130
2 少年院入院者	130
3 少年院における処遇	134
コラム3 少年院における新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に 配慮した教育活動	137
4 出院者	140
5 少年院の運営等	141

第5節	保護観察	142
1	概説	142
2	少年の保護観察対象者	142
3	少年の保護観察対象者に対する処遇	145
4	少年の保護観察対象者に対する措置	146
5	少年の保護観察の終了	147
第3章	少年の刑事手続	148
第1節	概要	148
1	起訴と刑事裁判	148
2	刑の執行	148
3	仮釈放	148
第2節	起訴と刑事裁判	149
1	検察庁での処理状況	149
2	通常第一審の科刑状況	150
第3節	少年の受刑者	151

第4編 各種犯罪の動向と各種犯罪者の処遇

第1章	交通犯罪	154
第1節	交通犯罪関係法令の改正状況	154
1	自動車運転死傷処罰法	154
2	道路交通法	154
第2節	犯罪の動向	155
1	交通事故の発生動向	155
2	過失運転致死傷等・危険運転致死傷	156
3	ひき逃げ事件	158
4	道交違反	159
第3節	処遇	160
1	検察	160
2	裁判	162
3	矯正	164
4	保護観察	164
第2章	薬物犯罪	165
第1節	犯罪の動向	165
1	覚醒剤取締法違反	165
2	大麻取締法違反等	167
3	危険ドラッグに係る犯罪	168
第2節	取締状況	169
1	覚醒剤等の押収量の推移	169

2	密輸入事案の摘発の状況	170
3	麻薬特例法の運用	171
第3節	処遇	172
1	検察・裁判	172
2	矯正	173
3	保護観察	175
第3章	組織的犯罪・暴力団犯罪	176
第1節	組織的犯罪	176
第2節	暴力団犯罪	177
1	組織の動向	177
2	犯罪の動向	178
3	処遇	182
第4章	財政経済犯罪	185
第1節	税法違反	185
第2節	経済犯罪	186
第3節	知的財産関連犯罪	189
第5章	サイバー犯罪	190
第1節	不正アクセス行為等	190
第2節	その他のサイバー犯罪	191
第6章	児童虐待・配偶者間暴力・ストーカー等に係る犯罪	192
第1節	児童虐待に係る犯罪	192
第2節	配偶者間暴力に係る犯罪	193
第3節	ストーカー犯罪等	195
1	ストーカー犯罪	195
2	私事性的画像被害に係る犯罪（リベンジポルノ等）	198
第7章	女性犯罪・非行	199
第1節	犯罪・非行の動向	199
第2節	処遇	201
1	検察	201
2	矯正	202
3	保護観察	206
第8章	高齢者犯罪	208
第1節	犯罪の動向	208
第2節	処遇	210
1	検察	210
2	矯正	211
3	保護観察	213

第9章 外国人犯罪・非行	215
第1節 外国人の在留状況等	215
1 外国人新規入国者等	215
2 不法残留者	215
3 退去強制	215
第2節 犯罪の動向	216
1 刑法犯	216
2 特別法犯	218
第3節 処遇	219
1 検察	219
2 裁判	221
3 矯正	222
4 保護観察	222
第4節 外国人非行少年の動向と処遇	223
1 外国人犯罪少年の動向	223
2 外国人非行少年の処遇	224
第10章 精神障害のある者による犯罪等	225
第1節 犯罪の動向	225
第2節 処遇	225
1 検察・裁判	225
2 矯正	225
3 保護観察	226
第3節 心神喪失者等医療観察制度	226
1 審判	227
2 指定入院医療機関による医療	227
3 地域社会における処遇	228
第11章 公務員犯罪	229

第5編 再犯・再非行

第1章 再犯防止推進法に基づく再犯防止施策	232
1 再犯防止推進法	232
2 再犯防止推進計画	232
3 再犯防止施策の取組状況	233
第2章 再犯・再非行の概況	234
第1節 検挙	234
1 刑法犯により検挙された再犯者	234
2 刑法犯により検挙された成人の有前科者	235

3	薬物犯罪により検挙された成人の同一罪名再犯者	237
第2節	検察・裁判	238
1	起訴人員中の有前科者	238
2	全部及び一部執行猶予の取消し	240
第3節	矯正	241
1	再入者	241
2	出所受刑者の再入所状況	244
3	出所受刑者の再入率の推移	247
4	再入者の再犯期間	249
第4節	保護観察	249
1	保護観察開始人員中の有前科者	249
2	保護観察対象者の再処分等の状況	251
第5節	少年の再非行・再犯	255
1	少年の再非行	255
2	保護観察処分少年及び少年院入院者の保護処分歴	256
3	少年院出院者の再入院等の状況	257
4	少年の保護観察対象者の再処分の状況	259

第6編 犯罪被害者

第1章	統計上の犯罪被害	262
第1節	被害件数	262
第2節	生命・身体への被害	264
第3節	性犯罪被害	265
第4節	財産への被害	266
第5節	被害者と被疑者の関係	267
第6節	国外における日本人の犯罪被害	268
第2章	刑事司法における被害者への配慮	269
第1節	刑事手続における被害者の関与	269
1	被害申告及び告訴	269
2	起訴・不起訴等に関する被害者等への通知	269
3	不起訴処分に対する不服申立制度	270
4	公判段階における被害者等の関与	272
5	矯正・更生保護段階等における被害者等の関与	274
6	少年事件における被害者等への配慮	275
7	法テラスによる被害者等に対する支援	275
8	地方公共団体における被害者支援に向けた取組	277
第2節	犯罪被害者等に対する給付金の支給制度等	277
1	犯罪被害給付制度	277
2	国外犯罪被害弔慰金等の支給制度	277

3	被害回復給付金支給制度	277
4	被害回復分配金支払制度	278
5	自動車損害賠償保障制度	278
6	地方公共団体による見舞金制度等	278
第3節	人身取引被害者保護	278

第7編 京都コンGRES

第1章	コンGRESの概要	282
第1節	コンGRESとは	282
1	コンGRESの役割	282
2	国連におけるコンGRESの位置付け	282
第2節	コンGRESの歴史	282
1	コンGRES設立までの経緯	282
2	コンGRESの変遷	283
第3節	コンGRESの意義	284
1	国連被拘禁者処遇最低基準規則（ネルソン・マンデラ・ルールズ）	284
2	拷問及び他の残虐な、非人道的な又は品位を傷つける取扱い 又は刑罰を受けることからの全ての人の保護に関する宣言	285
3	少年司法運営に関する国連最低基準規則（北京ルールズ）	285
4	非拘禁措置に関する国連最低基準規則（東京ルールズ）	285
5	バンコク宣言	285
6	サルバドル宣言	285
7	ドーハ宣言	286
第4節	コンGRESに対する日本の貢献	286
1	日本におけるコンGRESの開催	286
2	コンGRESで採択された基準規則等への関与	286
3	UNAFEIによるワークショップの企画運営	287
第2章	京都コンGRES	288
第1節	京都コンGRESの概要	288
1	京都コンGRES開催までの経緯	288
2	京都コンGRESの全体テーマ等	288
3	コロナ禍における新たな形の国際会議	289
4	京都コンGRESの成果	290
第2節	京都コンGRESにおける各種イベント	291
	コラム4 世界保護司会議と京都保護司宣言	291
	コラム5 京都コンGRES・ユースフォーラム	292
1	全体会合・ワークショップ	295
	コラム6 ワorkshop2「再犯防止：リスクの特定とその解決策」	295
2	附属会合（アンシラリーミーティング）	299

コラム7 アンシラリーミーティング「実社会に役立つ研究」	300
3 展示	301

第8編 詐欺事犯者の実態と処遇

第1章 はじめに	304
第2章 詐欺に関連する法令	306
第1節 詐欺に関連する処罰法規	306
1 刑法・組織的犯罪処罰法	306
2 詐欺と関係が深い特別法	307
3 特殊詐欺対策関連の特別法	308
4 その他の特別法	308
第2節 詐欺被害者の救済に関する法律	309
1 犯罪被害財産等による被害回復給付金の支給に関する法律	309
2 犯罪利用預金口座等に係る資金による被害回復分配金の支払等に関する法律	309
第3節 詐欺の捜査に係る法律	309
1 犯罪捜査のための通信傍受に関する法律	309
2 合意制度	310
第3章 詐欺事犯の動向等	311
第1節 詐欺事犯の動向等	311
1 認知・検挙・取締り	311
コラム8 新型コロナウイルス感染症に関連する詐欺事犯	324
コラム9 特殊詐欺撲滅に向けた官民の取組	338
2 検察	341
3 裁判	346
4 矯正	349
5 更生保護	357
第2節 再犯・再非行	365
1 検挙	365
2 検察・裁判	367
3 矯正	368
4 保護観察	376
第3節 詐欺被害者	382
1 詐欺	382
2 特殊詐欺	384
3 被害回復	388
コラム10 詐欺被害者の声	389
第4章 再犯防止に向けた各種施策	391

第1節	矯正	391
1	刑事施設	391
	コラム11 函館少年刑務所における特殊詐欺再犯防止指導	391
2	少年院	392
	コラム12 多摩少年院及び新潟少年学院における特殊詐欺再非行防止指導	393
第2節	更生保護	395
	コラム13 被害者から被害に関する心情等を伝達された 保護観察対象者に対する指導の実例	396
第5章 特別調査		398
第1節	調査の概要	398
第2節	全対象者調査の結果	399
1	調査対象事件の概要	399
2	全対象者の特徴	401
第3節	特殊詐欺事犯者の調査の結果	408
1	特殊詐欺事件の概要	408
2	特殊詐欺事犯者（確定記録調査対象者）の特徴	409
3	被害状況等	418
4	科刑状況	421
第4節	再犯に関する調査の結果	423
1	全対象者調査による再犯の有無	423
2	全部執行猶予者に対する再犯調査の結果	428
第6章 おわりに		431
第1節	詐欺事犯の動向等	431
1	認知・検挙状況等	431
2	処理状況等	432
3	少年による詐欺	432
4	再犯・再非行	432
5	詐欺被害者	433
第2節	特殊詐欺対策や詐欺事犯者処遇の経緯と現状	433
1	特殊詐欺撲滅に向けた取組	433
2	再犯防止に向けた取組	433
第3節	特別調査から判明した詐欺事犯者の特徴	434
1	全対象者の特徴	434
2	特殊詐欺事犯者調査の結果	435
3	詐欺事犯者の再犯状況と再犯に関連する要因	436
第4節	特殊詐欺対策や詐欺事犯者の処遇の在り方	437
1	特殊詐欺の撲滅に向けた取組	437
2	詐欺事犯者の特性等を踏まえた処遇の充実	439
3	まとめ	441
事項索引		443

資料編目次（※CD-ROM収録）

- 資料1-1 刑法犯 認知件数・発生率・検挙件数・検挙率・検挙人員
- 資料1-2 刑法犯 認知件数・検挙件数・検挙人員（罪名別）
- 資料1-3 刑法犯 検挙率（罪名別）
- 資料1-4 特別法犯 検察庁新規受理人員（罪名別）
- 資料2-1 検察庁新規受理人員（罪名別）
- 資料2-2 検察庁終局処理人員
- 資料2-3 検察庁終局処理人員（罪名別）
- 資料2-4 地方裁判所における死刑・懲役・禁錮の科刑状況（罪名別）
- 資料2-5 刑事施設の一日平均収容人員
- 資料2-6 年末在所懲役受刑者人員（刑期別）
- 資料2-7 仮釈放・少年院仮退院審理事件 審理開始・許可等人員
- 資料2-8 保護観察開始人員・全部又は一部執行猶予者の保護観察率
- 資料2-9 保護観察開始人員（罪名別，男女別）
- 資料3-1 少年・成人の刑法犯・危険運転致死傷・過失運転致死傷等 検挙人員・人口比・少年比
- 資料3-2 少年による刑法犯 検挙人員・人口比（年齢層別）
- 資料3-3 少年による刑法犯 検挙人員（罪名別）
- 資料3-4 触法少年による刑法犯 補導人員（非行名別）
- 資料3-5 少年による刑法犯 罪名別検挙人員（男女別，年齢層別）
- 資料3-6 少年による特別法犯 検挙人員（罪名別）
- 資料3-7 家庭裁判所終局処理人員（ぐ犯の態様別）
- 資料3-8 犯罪少年の検察庁新規受理人員・人口比（年齢層別）
- 資料3-9 犯罪少年の検察官処遇意見・家庭裁判所終局処理結果の各構成比（年齢層別）
- 資料3-10 少年保護事件 家庭裁判所終局処理人員（処理区分別，非行名別）
- 資料3-11 少年鑑別所入所者の人員・一日平均在所人員（男女別）
- 資料3-12 少年入所受刑者の人員（男女別，年齢層別，刑期別）
- 資料4-1 交通事故 発生件数・死傷者数・死傷率等の推移
- 資料4-2 覚醒剤取締法違反等 検察庁終局処理人員
- 資料4-3 覚醒剤取締法違反 通常第一審における有罪（懲役）人員（刑期別）
- 資料4-4 財政経済犯罪 起訴・不起訴人員
- 資料4-5 財政経済犯罪 通常第一審における懲役刑科刑状況
- 資料4-6 サイバー犯罪 検察庁終局処理人員
- 資料4-7 外国人の検察庁終局処理人員
- 資料4-8 来日外国人被疑事件 検察庁終局処理人員（罪名別）
- 資料4-9 被告人通訳事件 通常第一審における有罪人員・科刑状況（懲役・禁錮）の推移
- 資料4-10 F指標入所受刑者人員（国籍別）
- 資料4-11 外国人の保護観察開始人員（国籍別）
- 資料5-1 再入者人員（罪名別，男女別）
- 資料5-2 入所受刑者の入所度数別人員（罪名別）
- 資料5-3 再入者の再犯期間別人員（前刑罪名別）